

なぜ、ヤマトシジミ（鱗翅目、シジミチョウ科）なのか？

色模様研究のモデル生物として適している

- ① 色模様の判別がしやすい。
- ② 小型で飼育に適している。
- ③ サイクルが短い（約1ヶ月）。
- ④ 野外採集がしやすい。
- ⑤ 継代飼育方法を確立（*Entomol. Sci.* 13, 293-302, 2010）



ヤマトシジミ

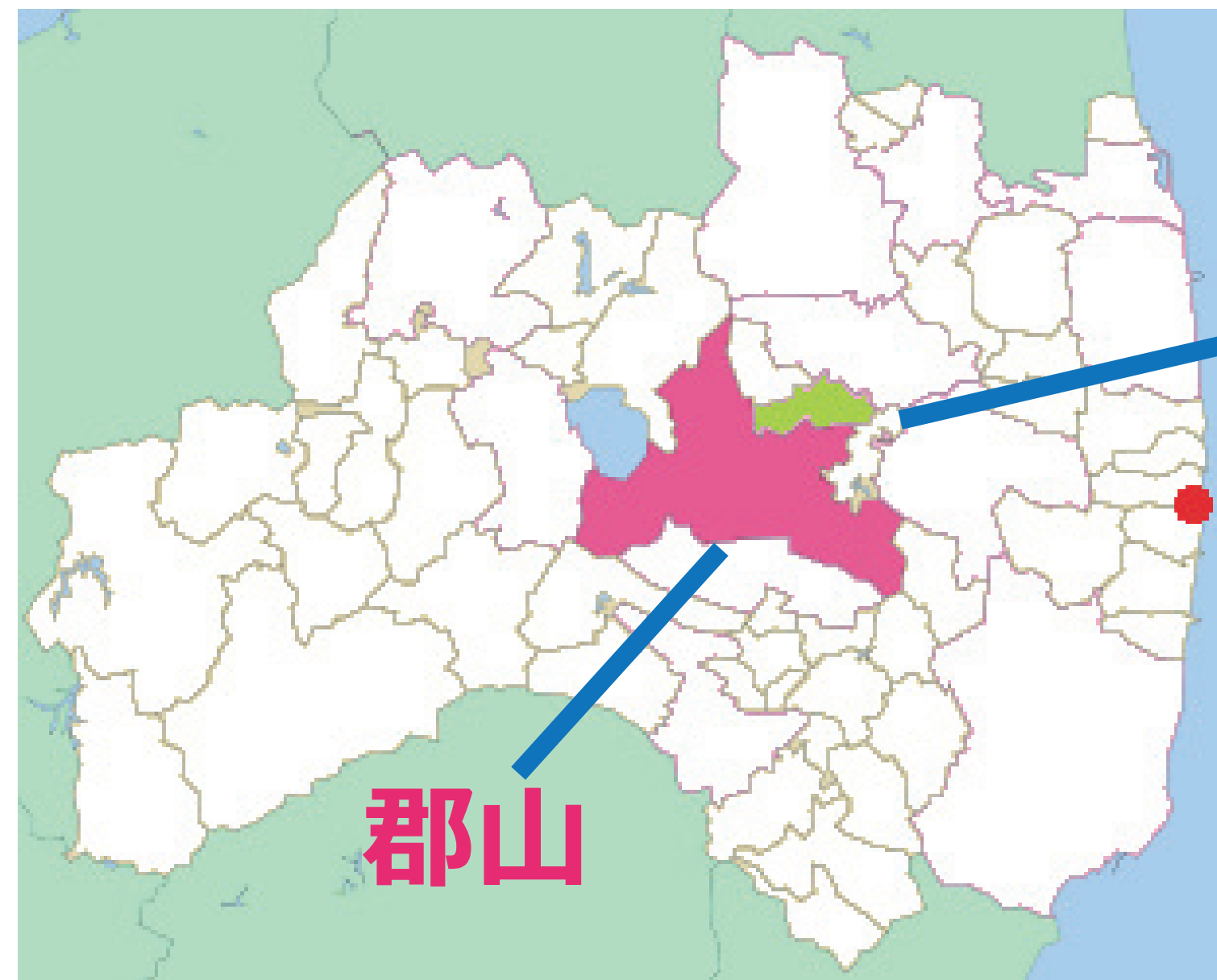
環境指標生物として適している

- ① 北海道以外の日本全国に広く分布。
- ② 移動範囲が狭い。（地域性を反映しやすい）
- ③ 地面付近で生活している。
- ④ 人の生活空間と同じ。
- ⑤ カタバミしか食べない。



カタバミ

Oxalis corniculata L.



カタバミ



F 1 (n=746)

F 2 (n=1,328)

郡山

郡山 ①

沖縄 ②

本宮

本宮 ③

沖縄 ④

沖縄

本宮 ⑤

沖縄 ⑥

郡山 ⑦

F1 生き残り個体から
良い状態の成虫を
選んで交配 (2系統)



7グループのF 2

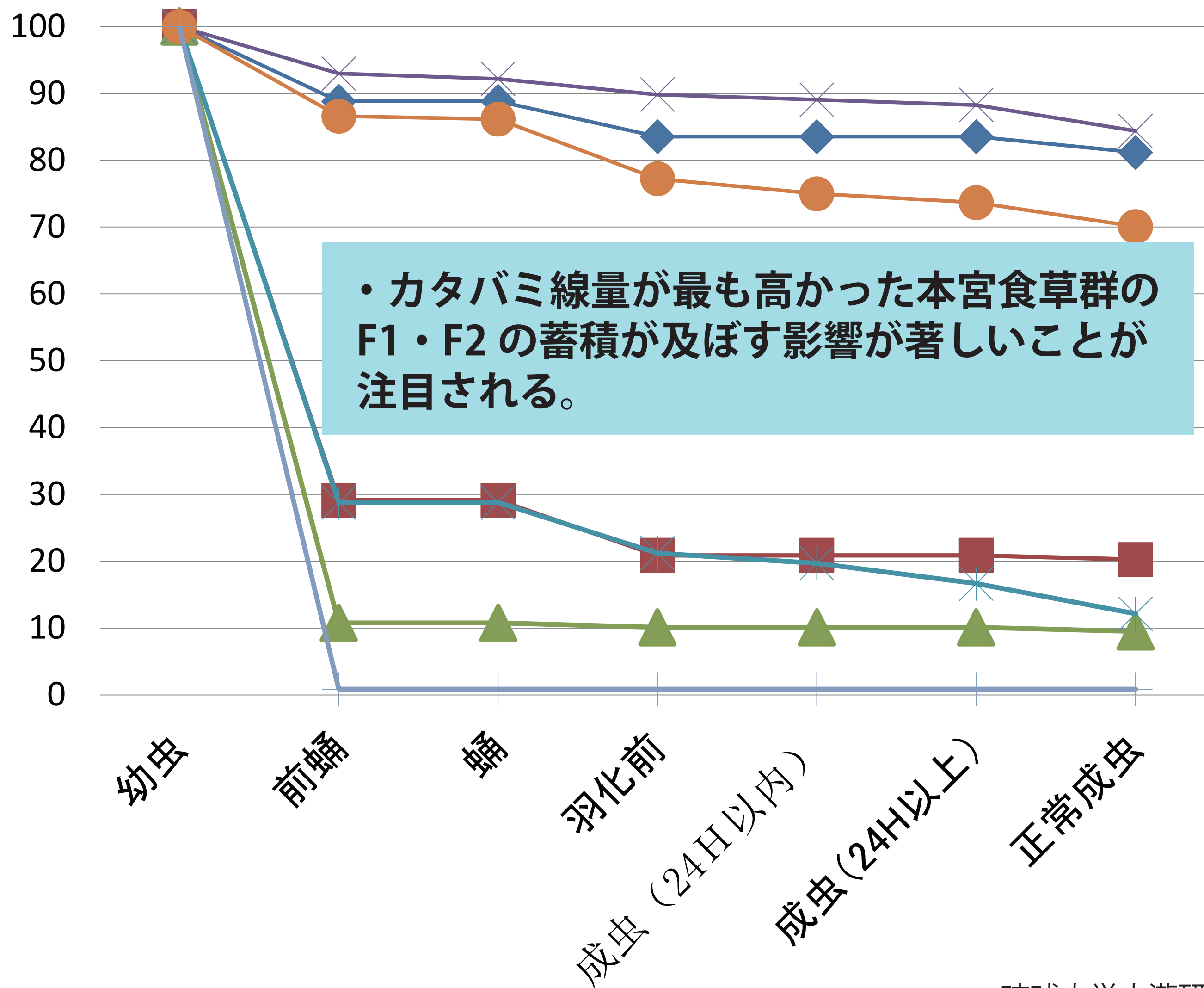
F2の生存率・正常率

$n=1,328$

F2 生存率・正常率

Cs-137 (Bq/kg)

沖縄 0.1、郡山 71.9、本宮 98.2



F1	F2	Rate (%)
郡山	沖縄	88.3
沖縄	沖縄	83.5
本宮	沖縄	73.7

F1	F2	Rate (%)
沖縄	郡山	20.9
郡山	郡山	16.7

沖縄	本宮	10.1
本宮	本宮	0.8

琉球大学大瀧研究室 野原千代 (後千代) さん提供資料より